



東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチの巡回展示が鳩山町で行われました



埼玉県では、東京2020オリンピック大会開催に向けて、東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチ巡回展示を行っています。

鳩山町では4月26日(月)の午前8時30分から午後3時まで、鳩山町役場本庁舎1階ロビーで、オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチが展示され、桜ゴールド、桜ピンクにそれぞれ輝くトーチを見学しようと訪れた人たちの姿が見られました。見学の方々は、実物のトーチを興味深く観察したり、実物と同じ重さのレプリカを手に持ち、「意外と重い」と驚きの声をあげたりしていました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、巡回展示は2回延期されたため、開庁と同時に訪れた方は「やっと見る事ができました。オリンピック、パラリンピックのトーチ、両方あるとは思ってもみませんでした。とても感動しました」と話していました。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社埼玉西支店と

地方創生に関する連携協定を締結しました

4月15日(木)に、鳩山町(総務課)と、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社埼玉西支店は、相互の連携を強化し、地方創生を実現することを目的に、連携協定を締結しました。

協定により連携するのは「地域・暮らしの安全、安心」「防災・災害対策」「産業振興・中小企業支援」「観光振興」「農業振興」などの分野についてです。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の廣松崎



玉西支店長は、「これまでも地域密着型の活動をしてきましたが、連携協定の締結により、具体的な取り組みをこちらからも提示して、ともに活動していきたいです」と話していました。

鳩山町コミュニティ・マルシェで

大学生によるスマホ講座「オンライン里帰り」を開催



コロナ禍で遠方の家族に会いづらい状況の高齢者を手助けしようと、鳩山町コミュニティ・マルシェで高齢者向けスマホ講座「オンライン里帰り」が5月5日(祝・水)に開催されました。

講座の講師を務めたのは、学生用シェアハウス「はとやまハウス」に入居中の大学生です。手書きの説明を交えながら、LINEのビデオ通話の使い方など、スマートフォンの基本的な操作方法を丁寧に説明していました。

参加した高齢者は、「今日教えてもらった方法で、孫と連絡をとってみたい」と話していました。